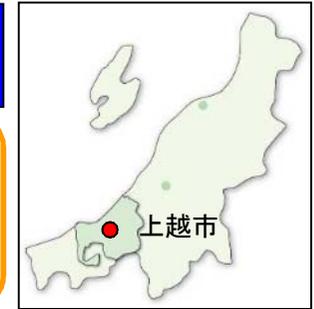


上越市地域公共交通活性化協議会

平成20年7月25日設置
平成21年3月24日連携計画策定



概要

「持続可能なまちを育み支える公共交通」を目指して!!

- 公共交通ネットワークの階層化を行い、地域間輸送を担う「幹線バス」と地域内輸送を担う「支線バス」へと再編を行います。
- 利用需要に応じた運行本数の最適化とデマンド型(予約制)バスを導入し、運行の効率化を図ります。
- 小型車両を導入し、利用需要に応じた輸送の実施と交通不便地域への対応を図ります。また、運行ダイヤを見直し、電車との接続を強化します。
- 地区中心部のコミュニティ施設等を公共交通拠点「さとの駅」として活用し、地域の賑わいを創出します。

○柿崎区少量輸送実証運行

【公共交通ネットワークの階層化】施策1-②-a

・浜線、山直海線の2路線は、地域拠点を結ぶ重要な路線であり「幹線」として位置づけ、柿崎区内を運行する黒岩線、水野線、上直海線は「支線」として位置づけ運行します。

【利用需要に応じた新たな運行形態の乗合タクシーを導入】施策1-①-b

・黒岩線、水野線、上直海線は、1日を通して利用者が少ないことから、少量輸送手法である小型バス又は乗合タクシーを導入します。

【利用目的にあった運行ダイヤ、運行本数の設定】施策1-②-c

・通勤、通学、通院など、利用者のニーズに対応した運行ダイヤ、本数に見直します。



○板倉区路線バス見直し実証運行

【公共交通ネットワークの階層化】施策1-②-a

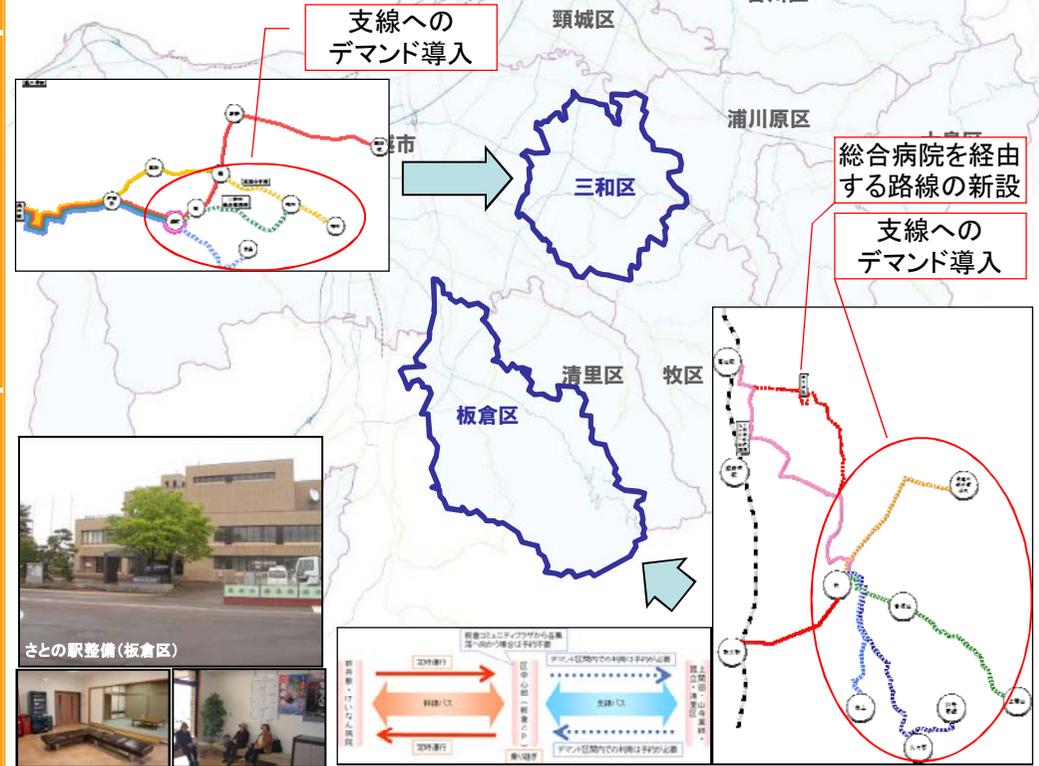
・利用需要が多い新井駅前～針(コミプラ)の間を「幹線」、針(コミプラ)～各集落の間を「支線」と位置づけ階層化を図ります。

【新たな運行手法の「デマンド(予約制)バス」を導入】施策1-①-a

・公共交通ネットワークの階層化に伴い、利用者が少ない路線や時間帯にはデマンド(予約制)バスを導入します。

【公共交通拠点(交通結節点)の整備】施策2-①-a

・幹線と支線に階層化することに伴い、交通結節点では乗継が生じるため、針(コミプラ)を公共交通拠点として整備します。



○三和区路線バス見直し実証運行

【公共交通ネットワークの階層化】施策1-②-a

・利用需要が多い高田駅前～番町の間を「幹線」、番町～各集落の間を「支線」と位置づけ階層化を図ります。

【新たな運行手法の「デマンド(予約制)バス」を導入】施策1-①-a

・公共交通ネットワークの階層化に伴い、利用者が少ない路線や時間帯にはデマンド(予約制)バスを導入します。

【利用目的にあった運行ダイヤ、運行本数の設定】施策1-②-c

・通勤、通学、通院など、利用者のニーズに対応した運行ダイヤ、運行本数に見直します。